

東大和市校内研究奨励校

第五中学校グループ外国語教育 モデルカリキュラム

Daigo Junior High School District Foreign Language Model Curriculum

平成31年2月

東大和市立第五中学校

Higashiyamato City Daigo Junior High School

目 次

第1章 第五中学校グループにおける外国語(英語)教育について	
Ⅰ 外国語教育を指導する際の課題	1
Ⅱ 第五中学校グループの外国語教育のねらい	1
Ⅲ 英語活動、外国語活動、外国語科モデルカリキュラムについて	2
1 年間カリキュラムの作成	
2 英語活動、外国語活動、外国語科の実施にあたって	
Ⅳ 中学校外国語科の指導例について	5
第2章 小学校英語活動、外国語活動、外国語科モデルカリキュラム	
Ⅰ クラスルームイングリッシュ	6
Ⅱ 各学年の年間モデルカリキュラム	
第1学年	8
第2学年	11
第3学年	14
第4学年	18
第5学年	22
第6学年	28
第3章 中学校外国語科モデルカリキュラム	
Ⅰ First Step School	30
Ⅱ 第1学年 接続期モデルカリキュラム	34
第4章 CAN-DO リスト	
第5学年	42
第6学年	43

第1章 第五中学校グループにおける外国語(英語)教育について

I 外国語教育を指導する際の課題

平成29年告示の学習指導要領では、小学校中学年に新たに外国語活動が導入され、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間力等」の三つの資質・能力の下で、英語の目標として「聞くこと」、「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」の3つの領域が設定され、音声面を中心とした外国語を用いたコミュニケーションを図る素地を育成することが明示された。その上で、高学年において「読むこと」、「書くこと」を加えた教科として外国語が導入され、5つの領域の言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成することとしている。中学校段階ではこうした小学校での学びを踏まえ、5つの領域の言語活動を通してコミュニケーションを図る資質・能力を育成することとしている。そのためには、小学校までの学習の成果を中学校教育に円滑に接続し、育成を目指す資質・能力を児童に確実に身に付けさせることが必要になる。

しかしながら、第五中学校グループの小中合同による研修会では、小学校の教員から「どの程度指導すればよいのか迷う」、「現在使用している教科書が難しい」といった悩みが寄せられ、中学校の教育への接続に多くの不安があることが判明した。さらには、中学校の新しい教科書がどのように記述されるのか推し量れず、何をどこまで接続すればよいのかが不透明の状況となっている。

そこで、第五中学校グループでは児童・生徒を指導する際の共通の内容や指導方法を精選し、いずれの教員が授業を実践しても同じレベルを担保できるようモデルカリキュラムを策定することにした。

II 第五中学校グループの外国語教育のねらい

平成29年年告示学習指導要領における小学校と中学校の接続

【中学校】

外国語によるコミュニケーションによる見方・考え方を働かせ、コミュニケーションの目的を理解し、見通しをもって目的を実現するための聞くこと、話すこと、読むこと、書くことによる総合的な言語活動を行うことを通して、簡単な情報や考えなどを外国語で理解したり表現したり伝え合ったりすることができる資質・能力を養う。

【小学校】

高学年

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、コミュニケーションの目的を理解し、見通しをもって目的を実現するための言語活動を通して、聞いたり話したりするとともに読んだり書いたりすることに慣れ親しませ、コミュニケーション能力の基礎となる資質・能力を養う。

中学年

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、コミュニケーションの目的を理解し、見通しをもって目的を実現するための活動を通して、聞いたり話したりすることに慣れ親しませ、コミュニケーション能力の素地となる資質・能力を養う。



第五中学校グループの目指す子供像

英語を用いて主体的にコミュニケーションができる子供

Ⅲ 英語活動、外国語活動、外国語科モデルカリキュラムについて

1 年間カリキュラムの作成

第五中学校グループでは義務教育9年間を見通して小学校と中学校が共通の学習指導観を共有し、系統的に子供のコミュニケーション能力を育むことが大切であるととらえている。そのため、発達段階を考慮した上で低学年から英語に慣れ親しませる年間モデルカリキュラムを策定した。

モデルカリキュラムは、小学校第1学年から第4学年についてはLesson1の開始2単位時間、第5学年と第6学年は別冊『Welcome to Higashiyamato』を活用する観点からそれぞれLesson7、Lesson2の開始1単位時間を試案として掲載した。今後は経年で全モデルカリキュラムを作成していく予定である。

- (1) 英語活動、外国語活動、外国語科の教育課程上の位置付けを明確化
- (2) 各学年の英語活動、外国語活動、外国語科の目標の設定
- (3) コミュニケーション活動の系統性
- (4) 評価規準を用いて子供の活動状況・活動内容を評価

(1) 教育課程上の位置付け

	年間実施時数(1単位時間)	位置付け	名称
第1・2学年	15時間(15分)	英語活動	英語活動
第3・4学年	35時間(45分)	外国語活動	外国語活動
第5・6学年	70時間(45分)	外国語	外国語

【第1・2学年】

学級担任が主となり指導を行う。

【第3・4学年】

学級担任が主となりALTを活用したチーム・ティーチングの指導を行う。

【第5・6学年】

学級担任、中学校の外国語科教員等が専門性を高めた指導及びALTを活用したチーム・ティーチングの指導を行う。

(2) コミュニケーション活動の系統性への配慮

【第1・2学年】

- 歌やゲームを通して挨拶の仕方や身近なものの表し方を知る。
- 話者の質問に対してものの名前を答える。

- 指導者や友人とのコミュニケーション活動を多く取り入れる。
- 英語を使って自分の意思を伝える機会を増やす。

【第3・4学年】

- 二者択一で意志を伝える行動を行う。
A: Do you like cats?
B: Yes.(or No.)

- 知っているものの中から好きなものを選んで伝える活動等を取り入れる。
- 対話の回数を増やす。

【第5・6学年】

- 意思決定や対話の回数を増やす。
A: What animals do you like?
B: I like cats.
A: Why do you like cats?
B: Because cats are lovely. Do you like cats?
A: No, I don't.

- 今まで培ってきた英語力を試すことのできる活動を設定する。
- 英語を話さなければならない活動を工夫する。

(3) 音声言語活動を中心化

- 身近で必要性のある言葉を繰り返し聞いたり話したりして、自然に英語に慣れ親しむようにすることが大切である。
- 子供が「聞きたくなる」「話したくなる」活動を工夫することが大切である。

(4) 評価基準を用いた子供の活動状況や活動内容の評価

- 1単位時間の評価規準は次の3点に配慮する。
 - 1単位時間での評価の観点は1つ～2つとし、年間を通して3観点をバランスよく配置する。
 - 「～(を)している」のように子供の活動の様子を通して、変容を見取る「プロセス評価」とする。

【第1・2学年】【英語活動の評価規準】

観点	評価規準		
	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
外国語の音声に慣れ親しませ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲を育てる。	英語を聞いたり真似たりしながら活動を楽しみ、挨拶などの簡単なコミュニケーションを図ろうとする。	英語の音声やリズムに親しみ、英語を使って活動することを楽しむ。	言語や習慣、文化等が外国と我が国では異なることに気付く。

【第3・4学年】【外国語活動の評価規準】

観点	評価規準		
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
外国語を通じて言語やその背景にある文化の多様性を尊重し、相手に配慮しながら聞いたり話したりすることを中心にしたコミュニケーション能力の素地を養う。	外国と我が国の言葉や習慣、文化等の相違を体験的に理解する。 様々な言語や文化について知り、多様なものの見方や考え方に気付く。	自分のことや身近なことを簡単な英語を使って伝え合う。	自分のことや身近なことなど場面に応じて英語を使いながら進んでコミュニケーションを図ろうとする。

【第5・6学年】【外国語科の評価規準】

観点	評価規準		
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
外国語の背景にある文化の多様性を尊重し、他者に配慮しながら聞いたり話したりすることに加えて、読んだり書いたりすることについての態度の育成も含めたコミュニケーション能力の基礎を養う。	外国と我が国の言葉の働きや役割等の相違を理解する。 外国語の文字や単語、語順等に慣れ親しむ。 コミュニケーションの場面で活用できる基本的な技能を身に付ける。	自分のことや身近なことについて、自分の考えや気持ちを簡単な外国語を使って伝え合う。 自分のことや身近なことについて、文字や単語等を読んだり書いたりする。	自分のことや身近なことなどについて、外国語や文化の多様性を尊重し、外国語を用いて進んでコミュニケーションを図ろうとする。

2 英語活動、外国語活動、外国語科の実施にあたって

1 単位時間を充実させるために、以下のことについて十分に配慮して言語活動を工夫する。

(1) 1 単位時間の組立て

活動の開始 I do	教員によるデモンストレーション ○楽しい活動を取り入れ、児童を英語の環境に引き入れる。 ○学級担任やALTが次の取組みを通して、自然に英語が出てくる場面を設定する。 ➢児童一人ひとりと明るく挨拶を交わす。 ➢英語の歌を元気よく歌う。 ➢チャンツを一緒に歌う。
活動の展開 We do	教員と児童のプラクティス ○低学年ではゲームなどを活用して、児童の興味を自然に引き出す工夫をする。 ○高学年ではロールプレイングなどを活用して、英語によるコミュニケーションを図る。 ○学級担任とALTによる実演や教具による具体例の提示(デモンストレーション)で活動内容や方法の理解を支援する。
活動のまとめ You do	児童同士のアクティビティ ○低学年では歌等を取り入れ、楽しい雰囲気終了する。 ○本時の活動の振り返りを行う。

(2) 学級担任とALTと共に活動を進める(ALTを活用する時間)

○学級担任が活動の主たる指導者となり、ALTに要所で指示を出す。

○ALTと事前の打ち合わせを十分に行う。

(3) 学級担任も積極的に英語を使う(クラスルームイングリッシュの活用)

○学級担任が英語を用いてALTと会話しようとする姿を児童に意図的に見せる。

○児童に指示を出すときやほめる時も進んで英語を使う。

○ルールを説明するときや特別に支援が必要な場合は、英語を無理に使用して説明しようとはせずに日本語で十分な理解を促す。

IV 中学校外国語科の指導例について

接続期のモデルカリキュラム

○作成の目的

小学校段階で培った音声面中心の外国語を用いたコミュニケーション能力の素地の上に、中学校で外国語(英語)を通じたコミュニケーション能力の基礎を育成するため、中学校の指導内容との円滑な接続や指導方法・指導内容の充実を図る。

○内容

➤中学校第1学年のモデルカリキュラム

小学校外国語科の内容と中学校第1学年接続期の単元の内容の重複を整理し、中学校入学時の中学校外国語の学習が効果的になるようにした。

➤FSS:First Step School

第五中学校グループでは、本校へ入学する第6学年の児童を対象にして春季休業中に中学校のプレ授業を実施している。プレ授業は任意参加ではあるが、毎年9割以上の参加率であることから「中1ギャップ」の解消の一助として、小中学校の教員が連携して実践する位置付けとした。

	時数	単元名(小学校) 題材名(中学校)	学習内容
小学校	8	Lesson8 What do you want to be? 将来の夢・職業	○将来就きたい職業やその理由等を伝え合う。 ○将来の夢について書かれた英語を推測しながら読んだり例を参考に書いたりする。
	8	Lesson9 Junior High School Life 中学校の生活・部活動	○中学校の部活動や学校行事について伝え合う。 ○中学校生活について書かれている英語を推測しながら読む。
FSS	3	エンカウンター	○小中学校教員によるティーム・ティーチングでクイズを主体としたアクティビティの中で、英語で相互理解を深める。 ○出席確認(呼名)への対応や挨拶の仕方を学ぶ。
中学校	1	オリエンテーション Can Do List チェック	○小学校外国語の振り返り
	1	自己紹介	○挨拶の仕方を学ぶ。 ○自己紹介をする。
	3	アルファベットの復習 単語の音と綴り	○大文字・小文字を振り返る。 ○単語、発音、綴りに慣れる。
	1	数字	○数字を聞いて、カタカナの音との違いを理解して使う。
	2	be 動詞	○am/are を理解して使う。

第2章 小学校英語活動、外国語活動、外国語科モデルカリキュラム

I クラスルームイングリッシュ

1 意識的に使わせるフレーズ

How do you say ○○ in English?
Pardon?
Speak slowly, please.

○○は英語で何と言いますか。
すみません(聞き取れなかったとき)。
ゆっくり言ってください。

2 授業の始まりの挨拶で入れるもの

第3学年からの取り入れ

What day is it today?
How is the weather today?

今日は何曜日ですか。
今日の天気はどうですか。

第5学年からの取り入れ

What's the date today?

今日は何月何日ですか。

3 児童が使う言葉

Here you are.
Thank you.
You are welcome.
I'm sorry.
Please help me.
Is this O.K.?
Excuse me.
I don't know.
It's your (my) turn.
○○, please.
Let's work together.
Good! / Great! / Good job!
Good try!
Close!
I have a question.
One more sheet, please.

どうぞ。
ありがとう。
どういたしまして。
ごめんなさい。
手伝ってください。
これでいいですか。
すみませんが…〔話しかける時〕
わかりません。
あなた(私)の番です。
○○ください。
一緒にやりましょう。
いいね。
がんばったね。
惜しい。
質問があります。
もう1枚ください。

4 教員が使う言葉

指示

Stand up.
Sit down.
Alright, let's get started.
Listen to me(him / her / them).
Look at me(him / her / them).
Come here.
Go back to your seat.
Raise your hand.
Repeat after me.
Open your books to page ○○.
Close your books.
Make a pair.
Make a group of four.
Let's play games.
Write your name in Roman letters.
Let's try it again.
Much louder.
Be quiet.
Be careful.
Time's up.

起立。
着席。
さあ、はじめよう。
聞いてください。
私を見てください。
ここに来てください。
席に戻ってください。
手を挙げてください。
繰り返し言ってください。
教科書○○ページを開いてください。
教科書を閉じてください。
ペアになりましょう。
4人のグループになりましょう。
ゲームをしましょう。
名前をローマ字で書いてください。
もう一度やってみましょう。
もっと大きな声で。
静かにしてください。
気を付けてください。
時間です。

児童への励まし

Good! / Very good! / Great! / Perfect!	とてもいいですね。
Good job!	よく出来ました。
Good try!	がんばってね。
That's O.K.	大丈夫です。
No problem. / Excellent!	問題ないです。
Close!	惜しい。
Don't be shy.	恥ずかしがらずに。
Don't worry. / Don't mind.	気にしないで。
Try. / Try it again.	やってみましょう。/もう一度～
You can say it in Japanese.	日本語でいいですよ。

児童への問いかけ

Are you ready?	準備はいいですか。
Is it O.K.?	これでいいですか。
Any questions?	質問はありますか。
Finished?	終わりましたか。
Any volunteers?	誰かやってくれる人はいますか。
How do you spell "〇〇"?	〇〇のスペルは何ですか。
How do you say "〇〇" in English?	〇〇は英語で何でしょうか。

挨拶

Hello everyone.
Good morning / afternoon.
How are you?
I'm fine (great / O.K. / good), thank you. And you?
See you (later / next week / next time).
Have a nice day (weekend).
Good-bye.

学級担任とALTが使う言葉

Let's demonstrate.	デモンストレーションをしましょう。
Let's sing.	歌いましょう。
Start the game, please.	ゲームを始めてください。
Explain the rules, please.	ルールを説明してください。
O.K. Times up.	時間です。
Next step, please.	次に進んでください。
How about 〇〇?	〇〇はどうですか。
Please let them repeat after you.	先生(ALT)の後に発話させてください。
Let me explain it in Japanese.	日本語で説明させてください。
Could you speak much louder, please.	もっと大きな声で。
Please ask him (her).	この児童を指名してください。
Help him / her / them, please.	この児童(彼ら)を指導してください。

月	時	単元名	主な学習語句	評価の観点		
				コ	慣	気
5	1	Lesson1 Hello. I'm ~ あいさつをしよう	Hello. I'm(自分の名前) Good-bye. See you.	○		
6	2		Hello. I'm(自分の名前) Good-bye. See you.		○	
7	3	Lesson2 Colors 色であそぼう	7色の名前 red, blue, pink, yellow, purple, orange, green		○	○
	4		7色の名前 red, blue, pink, yellow, purple, orange, green Cards, please.		○	
9	5		7色の名前 > (color), please > Her you are. Thank you. > One, two, three (簡単じゃんけん)	○		
	6		1 ~ 10 「Seven steps」		○	
10	7	Lesson3 Numbers 数であそぼう	11 ~ 20		○	
	8		1 ~ 20		○	
11	9	Lesson4 What's this? これなあに?	bear, cat, dog, elephant, horse, lion, monkey, panda, rabbit, snake, tiger > What's this?			○
	10		bear, cat, dog, elephant, horse, lion, monkey, panda, rabbit, snake, tiger > What's this?		○	
12	11		bear, cat, dog, elephant, horse, lion, monkey, panda, rabbit, snake, tiger > What's this?		○	
1	12	Lesson5 I like ~ 好きな食べ物を伝えよう	apple, strawberry, orange, banana, grapefruit, pineapple, grapes > I like ~.		○	
2	13		cake, candy, cookie, apple, strawberry, orange, banana, grapefruit, pineapple > I like~. I don't like~. Do you like~? > Yes. / No.	○		○
	14		cake, candy, cookie, apple, strawberry, orange, banana, grapefruit, pineapple > I like~. I don't like~. Do you like~? > Yes. / No.	○	○	
3	15	Lesson6 Let's enjoy English. 1年のまとめ			○	

- 1 **ねらい**：英語であいさつをしようとする。
- 2 **留意点**：HRT (Home Room Teacher (学級担任))
- 3 **展開**：

活動内容	HRT	◆留意点 ★評価 ◎使用教材							
めあて(板書)：えいごであいさつをしよう。									
【Greeting】 Hello. I'm (自分の名前).	Hello, everyone. I'm~. Let's enjoy English communication! ○全児童が言えるように声掛けをする。								
○歌を歌う。 「Hello Song」	○児童が楽しく歌えるように呼びかけする。 ○動作を教えながら児童と一緒に歌う。 Let's sing a song!	◎「Hello song」 CD							
【Let's Play】 ○あいさつリレーをする。 Hello. I'm(自分の名前). Good-bye.	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>HRT と任意の児童によるデモンストレーション (あいさつリレー)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">【活動の進め方】</td> </tr> <tr> <td>①学級を4つのグループに分ける。</td> </tr> <tr> <td>②2グループずつ向かい合って並び、先頭の児童からあいさつする。 Hello. Hello.</td> </tr> <tr> <td>③相互に自分の名前を言い、握手する。 I'm ~ . I'm ~ .</td> </tr> <tr> <td>④さようならのあいさつをして、自分の列の一番後ろに並ぶ。 Good-bye. Good-bye.</td> </tr> <tr> <td>⑤前の児童のあいさつが終わったら、次の児童があいさつする。グループの全員が終わったら、その場に座る。グループを変えながら、色々な友達とあいさつできるようにする。</td> </tr> </tbody> </table> <p>○自信をもてない児童へは言い方を支援する。 ○児童が進んであいさつができていないか確認する。</p>	HRT と任意の児童によるデモンストレーション (あいさつリレー)	【活動の進め方】	①学級を4つのグループに分ける。	②2グループずつ向かい合って並び、先頭の児童からあいさつする。 Hello. Hello.	③相互に自分の名前を言い、握手する。 I'm ~ . I'm ~ .	④さようならのあいさつをして、自分の列の一番後ろに並ぶ。 Good-bye. Good-bye.	⑤前の児童のあいさつが終わったら、次の児童があいさつする。グループの全員が終わったら、その場に座る。グループを変えながら、色々な友達とあいさつできるようにする。	◆友達の間を見て話を最後まで聞くように指示する。 ★HRTや友達と英語であいさつしようとしている。
HRT と任意の児童によるデモンストレーション (あいさつリレー)									
【活動の進め方】									
①学級を4つのグループに分ける。									
②2グループずつ向かい合って並び、先頭の児童からあいさつする。 Hello. Hello.									
③相互に自分の名前を言い、握手する。 I'm ~ . I'm ~ .									
④さようならのあいさつをして、自分の列の一番後ろに並ぶ。 Good-bye. Good-bye.									
⑤前の児童のあいさつが終わったら、次の児童があいさつする。グループの全員が終わったら、その場に座る。グループを変えながら、色々な友達とあいさつできるようにする。									
【Closing】 ○学習を振り返る。 ○歌を歌う。 「Good-bye song」 See you.	○本時の活動について児童の感想を聞く。 ○児童と一緒に楽しく歌う。 See you.	◆児童の反応を次時に生かす ◎「Good-bye song」 CD							

- 1 **ねらい**：積極的に英語であいさつする表現に慣れ親しむ。
- 2 **留意点**：HRT (Home Room Teacher (学級担任))
- 3 **展開**：

活動内容	HRT	◆留意点 ★評価 ◎使用教材								
めあて(板書)：えいごであいさつをしよう。										
【Greeting】 Hello. I'm(自分の名前).	Hello, everyone. I'm~. Let's enjoy English communication! ○全児童が言えるように声掛けをする。									
○歌を歌う。 「Hello Song」	○児童が楽しく歌えるように呼びかけする。 ○動作を教えながら児童と一緒に歌う。 Let's sing a song!	◎「Hello song」 CD								
【Let's Play】 ○名刺交換をする。 Hello. I'm(自分の名前). Good-bye.	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">HRT と任意の児童によるデモンストレーション (名刺交換ゲーム)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">【活動の進め方】</td> </tr> <tr> <td>① 5色の紙(あるいは動物の絵カード)を一人5枚ずつ渡す。</td> </tr> <tr> <td>② 友達を探してあいさつをする。 Hello. Hello.</td> </tr> <tr> <td>③ じゃんけんをする。</td> </tr> <tr> <td>④ 勝った児童は先に自分の名前を言う。 I'm ~.</td> </tr> <tr> <td>⑤ 負けた児童は次に自分の名前を言い、自分のカードを1枚相手に渡す。 I'm ~. Good-bye. Good-bye.</td> </tr> <tr> <td>⑥ 5種類(たくさん)のカードが集まったら終了</td> </tr> </tbody> </table> <p>○自信をもてない児童へは言い方を支援する。 ○児童が進んであいさつができていないか確認する。</p>	HRT と任意の児童によるデモンストレーション (名刺交換ゲーム)	【活動の進め方】	① 5色の紙(あるいは動物の絵カード)を一人5枚ずつ渡す。	② 友達を探してあいさつをする。 Hello. Hello.	③ じゃんけんをする。	④ 勝った児童は先に自分の名前を言う。 I'm ~.	⑤ 負けた児童は次に自分の名前を言い、自分のカードを1枚相手に渡す。 I'm ~. Good-bye. Good-bye.	⑥ 5種類(たくさん)のカードが集まったら終了	◎5色の紙(あるいは動物の絵カード) ◆一人が同じ種類のカードを持ち、ゲームの中で5種類のカード、またはたくさんのカードが集められるようにする。 ◆友達の目を見て話を最後まで聞くように指示をする。 ◆途中でカードがなくなった児童には、予備のカードを渡してゲームを続けるように促す。 ★英語で積極的にあいさつをしている。
HRT と任意の児童によるデモンストレーション (名刺交換ゲーム)										
【活動の進め方】										
① 5色の紙(あるいは動物の絵カード)を一人5枚ずつ渡す。										
② 友達を探してあいさつをする。 Hello. Hello.										
③ じゃんけんをする。										
④ 勝った児童は先に自分の名前を言う。 I'm ~.										
⑤ 負けた児童は次に自分の名前を言い、自分のカードを1枚相手に渡す。 I'm ~. Good-bye. Good-bye.										
⑥ 5種類(たくさん)のカードが集まったら終了										
【Closing】 ○学習を振り返る。 ○歌を歌う。 「Good-bye song」 See you.	○本時の活動について児童の感想を聞く。 ○児童と一緒に楽しく歌う。 See you.	◆児童の反応を次時に生かす ◎「Good-bye song」 CD								

月	時	単元名	主な学習語句	評価の観点		
				コ	慣	気
5	1	Lesson1 How are you? あいさつをしよう	Hello / Good morning. I'm～.	○		
	2		How are you? I'm (fine / good / great / sick / O.K).		○	
7	3	Lesson2 Colors 色であそぼう	red, yellow, pink, green, purple, orange, blue, black, white, gold		○	○
	4		red, yellow, pink, green, purple, orange, blue, black, white, gold ～, please. Here you are. Thank you.	○		
9	5	Lesson3 Body parts 体であそぼう	Head, shoulders, knees, toes, eyes, ears, mouth, nose	○		○
	6		Head, shoulders, knees, toes, eyes, ears, mouth, nose ➤Touch your～.		○	
10	7	Lesson4 Numbers 数であそぼう	11 ～ 12		○	
	8		11 ～ 20	○		
11	9	Lesson5 Do you like～? What ○○ do you like? 好きなものはなあに?	apple, strawberry, orange, banana, grapes, grapefruit, pineapple, peach, melon, lemon ➤I like～s.			○
	10		Do you like apples (oranges / strawberries / bananas / grapes / grapefruits / pineapples / peaches / melons / lemons)? ➤Yes, I do. / No, I don't.	○	○	
12	11	Lesson5 Do you like～? What ○○ do you like? 好きなものはなあに?	bear, cat, dog, elephant, horse, lion, monkey, panda, rabbit, snake, tiger, pig, koala, cow ➤What's this? I don't know. ➤Do you like～s? Yes. I do / No, I don't.			○
1	12		bear, cat, dog, elephant, horse, lion, monkey, panda, rabbit, snake, tiger, pig, koala, cow ➤What animals do you like? I like～s.	○	○	
2	13		cake, chocolate, cookie, candy, ice cream, ships, popcorn, donut, pudding ➤Do you like～? ➤Yes, I do. / No, I don't.			○
	14	cake, chocolate, cookie, candy, ice cream, ships, popcorn, donut, pudding ➤What food do you like? I like～.	○	○		
3	15	Lesson6 Let's enjoy English. 2年のまとめ			○	

- 1 **ねらい**：積極的に英語であいさつをしようとする。
- 2 **留意点**：HRT (Home Room Teacher (学級担任))
- 3 **展開**：

活動内容	HRT	◆留意点 ★評価 ◎使用教材					
めあて(板書)：えいごであいさつをしよう。							
【Greeting】 Hello. / Good morning. I'm (fine / good / great).	Hello. / Good morning. How are you? Let's enjoy English communication! ○全児童が言えるように声掛けをする。						
○歌を歌おう。 「Hello Song」	○児童が楽しく歌えるように呼びかけする。 ○動作を教えながら児童と一緒に歌う。 Let's sing a song!	◎「Hello song」 CD					
【Let's Play 1】 ○自分の名前の言い方を 知ろう。 I'm～。	○自己紹介することを伝える。 ○HRT の後に続いて繰り返し練習するようにする。	◆単純なリピートではなく、リズムに合わせてたり感情を込めたりして発話させる。					
【Let's Play 2】 ○自己紹介をしよう。 Hello / Good morning. I'm～。	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th style="text-align: center;">HRT と任意の児童によるデモンストレーション (あいさつリレー)</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">【活動の進め方】</td> </tr> <tr> <td>① 2列に座らせる。</td> </tr> <tr> <td>② 会話をして名前を言い終えた後に握手をする。</td> </tr> </table> <p>○戸惑いの児童へは言い方を支援する。 ○全児童と自己紹介するようにする。</p>	HRT と任意の児童によるデモンストレーション (あいさつリレー)	【活動の進め方】	① 2列に座らせる。	② 会話をして名前を言い終えた後に握手をする。	◆全児童が HRT と関わるようにする。 ◆友達目を見て話を最後まで聞くように指示する。 ★HRT や友達と英語で積極的にあいさつしようとしている。	
HRT と任意の児童によるデモンストレーション (あいさつリレー)							
【活動の進め方】							
① 2列に座らせる。							
② 会話をして名前を言い終えた後に握手をする。							
○自己紹介リレーゲームをしよう。	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th style="text-align: center;">HRT と任意の児童によるデモンストレーション (あいさつリレー)</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">【活動の進め方】</td> </tr> <tr> <td>① 学級を 4つのグループに分ける。</td> </tr> <tr> <td>② 2グループずつ向かい合って並び、先頭のペアから立って自己紹介をする。</td> </tr> <tr> <td>③ 前のペアの自己紹介が終わったら、次のペアが立って自己紹介をする。先に自己紹介が終わったグループの勝ちとする。</td> </tr> </table>	HRT と任意の児童によるデモンストレーション (あいさつリレー)	【活動の進め方】	① 学級を 4つのグループに分ける。	② 2グループずつ向かい合って並び、先頭のペアから立って自己紹介をする。	③ 前のペアの自己紹介が終わったら、次のペアが立って自己紹介をする。先に自己紹介が終わったグループの勝ちとする。	◆スピードを競うことに没頭するので、目を見て発話している列が勝ちであったりしっかり握手している列の勝ちであったりすることなど、めあてを変えながら取り組ませる。 ◆時間があれば組み合わせる列を変えて行う。
HRT と任意の児童によるデモンストレーション (あいさつリレー)							
【活動の進め方】							
① 学級を 4つのグループに分ける。							
② 2グループずつ向かい合って並び、先頭のペアから立って自己紹介をする。							
③ 前のペアの自己紹介が終わったら、次のペアが立って自己紹介をする。先に自己紹介が終わったグループの勝ちとする。							
【Closing】 ○振り返りと終わりのあいさつをしよう。 ○「Good-bye song」を歌おう。 Thank you. Good-bye.	○本時の活動で楽しかったことを聞く。 Let's sing a song! Thank you. Good-bye.	◎「Good-bye song」 CD					

2年

Lesson 1

How are you?

あいさつをしよう

2/2

- 1 **ねらい**：様子を表す表現に慣れ親しむ。
- 2 **留意点**：HRT (Home Room Teacher (学級担任))
- 3 **展開**：

活動内容	HRT	◆留意点 ★評価 ◎使用教材
めあて(板書)：自分の様子を友達に伝えよう。		
【Greeting】 Hello. / Good morning. I'm(fine / good / great).	Hello. / Good morning. How are you? Let's enjoy English communication! ○全児童が言えるように声掛けをする。	
○歌を歌おう。 「Hello Song」	○児童が楽しく歌えるように呼びかけする。 ○動作を教えながら児童と一緒に歌う。 Let's sing a song!	◎「Hello song」 CD
【Let's Play 1】 ○状態を尋ねる言葉と状態を表す言葉を確認しよう。 How are you? I'm(fine / good / great / sick / OK).	○カードを提示する。 ○それぞれの違いが分かるように大きなジェスチャーで表現する。 How are you? I'm(fine / good / great / sick / OK).	◎fine / good / great / sick / OK のカード ◆言葉に慣れるまで繰り返し返して練習をする。
【Let's Play 2】 ○ジェスチャーゲームをしよう。 How are you? I'm(fine / good / great / sick / OK).	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> HRT と任意の児童によるデモンストレーション (あいさつリレー) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 【活動の進め方】 </div> <ol style="list-style-type: none"> ①一人が前に出て、残りの児童が How are you? と尋ねる。 ②前に出た児童がジェスチャーを行う。 ③そのジェスチャーが何のジェスチャーかを当てる。 ④出題者は、I'm ～. で自分の状態を答える。 ⑤友達の状態を当てた児童が次の出題者になる。 <p>○児童が楽しく活動できるよう支援する。 ○発話の支援をする。</p>	◎fine / good / great / sick / OK のカード ◆児童数が多い場合は、前に出る児童数を増やしてもよい。 ◆児童のジェスチャーや大きな声等を適宜ほめて評価する。 ★自分の様子を相手に伝えている。
○あいさつリレーゲームをしよう。 Hello. / Good morning. Hello. / Good morning. How are you? I'm(fine / good / great / sick / OK). I'm(fine / good / great / sick / OK).	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> HRT と任意の児童によるデモンストレーション (あいさつリレー) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 【活動の進め方】 </div> <ol style="list-style-type: none"> ①学級を4つのグループに分ける。 ②2グループずつ向かい合って並び、先頭のペアから立ってあいさつをする。 ③前のペアのあいさつが終わったら、次のペアが立ってあいさつをする。先にあいさつが終わったグループの勝ちとする。 	◆スピードを競うことに没頭するので、目を見て発話している列が勝ちであったりしっかり握手している列の勝ちであったりすることなど、めあてを変えながら取り組ませる。 ◆時間があれば組み合わせる列を変えて行う。
【Closing】 ○振り返りと終わりのあいさつをしよう。 ○「Good-bye song」を歌おう。 Thank you. Good-bye.	○本時の活動で楽しかったことを聞く。 Let's sing a song! Thank you. Good-bye.	◎「Good-bye song」 CD

月	時	単元名	主な学習語句	評価の観点		
				知	思	主
4	1	Lesson1 「Let's Try!」 あいさつをして友達になろう	Hello. Hi, I'm(自分の名前). Goodbye. See you.	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	3	Lesson2 How are you? ごきげんいかが?	How are you? I'm (happy / fine / good / sleepy / hungry).	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	4			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	5			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	6	Lesson3 How many? 数えてあそぼう	How many (apples)? >Ten apples. >Yes. That's right. >No. Sorry. 数、身の回りの物、果物、野菜、形	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	7			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	8			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	9			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	10	Lesson4 I like blue. 好きなものをつたえよう	I like (blue).Do you like (blue)? >Yes, I do >No, I don't. I don't like blue. 色、スポーツ、飲食物、果物、野菜	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	11			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	12			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	13	Lesson5 What do you like? 何が好き?	What do you like? >I like (tennis). What (sport) do you like? >I like (soccer). スポーツ、飲食物、果物、野菜	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	14			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	15			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	16			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	17	Lesson6 Alphabet アルファベットとなかよし	(The "A" card), please. >Here you are. >Thank you. You're welcome. 大文字(A~Z)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	18			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	19			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	20			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11	21	Lesson7 This is for you. カードをおくろう	What do you want? (A star), please. >Here you are. This is for you. >Thank you. You're welcome. 状態、気持ち、形、動物、 bus, flower, shop, balloon, car 等	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	22			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	23			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	24			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	25			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12	26	Lesson8 What's this? これなあに?	What's this? Hint, please. >It's (a fruit / green / melon). >That's right. it, hint, sea, 動物、spider 等	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	27			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	28			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
1	29			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	30			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	31	Lesson9 Who are you? きみはだれ?	Are you (a dog)? >Yes, I am. / No, I'm not. Who are you? >I'm (a dog). Who am I? Hint, please. 動物、状態、気持ち、身体の部位	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	32			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	33			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	34			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	35			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

第3学年 Lesson 1

単元名 あいさつをして友だちになろう Hello!	
単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ○世界には様々な言語があることに気付くとともに挨拶や名前の言い方に慣れ親しむ。 ○名前を言って挨拶をし合う。 ○相手に伝わるように工夫をしながら名前を言って挨拶を交わそうとする。

指導と評価の計画(2時間)

時	目標	学習内容	評価		
			知	思	主
1	<ul style="list-style-type: none"> ○世界には様々な言語あることに気付き、挨拶や名前の言い方に慣れ親しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○世界には様々な挨拶の仕方や言語があることを知る。 ○世界の様々な言葉で挨拶をする練習をする。 ○友達の名札を受け取る。 ○受け取った名札の持ち主と挨拶をする。 ○互いの名前を言う。 ○相手の名前を持っている場合は、英語で書かれた名札を相手に渡す。 	○		
2	<ul style="list-style-type: none"> ○相手に伝わるように工夫しながら名前を言って挨拶を交わす。 ○手に伝わるように工夫しながら名前を言って挨拶を交わそうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○映像資料で挨拶と名前(自国の言葉と英語)を再度聞く。 ○世界の様々な言語で挨拶をする練習をする。 ○相手を見つけて世界の様々な言葉で挨拶をする。 ○挨拶を聞いて国旗を線で結ぶ。 ○教室内でペアを作る。 ○相手を見つけて挨拶をした後、好きな野菜や果物、飲食物を伝えて名刺を交換する。 		○	○

※評価の3観点 ㊦：知識・理解 ㊧：思考力・判断力・表現力 ㊨：主体的に学習に取り組む態度

- 1 **ねらい**：世界には様々な言語があることに気付き、挨拶や名前の言い方に慣れ親しむ。
- 2 **留意点**：HRT (Home Room Teacher (学級担任))
- 3 **展開**：

活動内容	HRT	◆留意点 ★評価 ◎使用教材
【Greeting】 Hello. I'm ~. How are you?	○児童と一緒に挨拶をする。 Hello, everyone. How are you? Let's start our English Lesson.	◆全児童が声を出せるよう呼びかける。
【Let's Sing】 「Hello Song」 ○3回程度歌う。 【Let's Chant】 Hello!	○「Hello Song」を児童と一緒に歌う。 ○挨拶等のジェスチャーを考えさせる。	◎デジタル教材 ◎PC・プロジェクター ◎「Let's Try!」①p.3
めあて(板書)：挨拶をして、自分の名前を言おう。		
【Let's Watch and Think】 ○世界には様々な挨拶の仕方や言語があることを知る。 ○世界の様々な言葉で挨拶をする練習をする。 ○ペアで世界の様々な言葉で挨拶をする。 【Activity】 ○あいさつをしよう ○友達の名札を受け取る。 ○受け取った名札の持ち主と挨拶をする。 ○お互いの名前を言う。 ○相手の名札を持っている場合は、英語で書かれた名札を相手に渡す。	○2回繰り返して聞かせた後に、答え合わせをする。 ○児童に実際に聞こえた通りに言わせる。 ○世界の様々な挨拶を練習する。 <div style="border: 1px solid black; background-color: #e0e0e0; padding: 5px; text-align: center;">HRT がデモンストレーションを示す。</div> <p style="text-align: center;">【活動の進め方】</p> C1：Hello. (世界の言葉で挨拶) C2：Hello. (世界の言葉で挨拶) C1：My name is Hanako. I like sushi. Here you are. C2：Thank you. My name is Hinata. I like onigiri. C1：Here you are. C2：Thank you. C1：You are welcome. Good-bye.	◎デジタル教材 ◎PC・プロジェクター ◎「Let's Try!」①p.3 ★世界には様々な言葉があることに気付いている。Ⓜ ◎英語で書かれた名札 ◎自分の名前の言い方に慣れ親しんでいる。Ⓜ
【Follow up】 ○単元の見通しをもち、目標を立てる。 ○振り返りカードに記入する。 【Closing】	○本時の目標について活動を振り返らせ、カードに記入させる。 ○本時の活動について児童から感想を聞く。	◆振り返りカードの記入内容を見て、指名する。

- 1 **ねらい**：(1) 相手に伝わるように工夫しながら名前を言って挨拶を交わす。
 (2) 相手に伝わるように工夫しながら名前を言って挨拶を交わそうとする。
- 2 **留意点**：HRT(Home Room Teacher (学級担任)) C (Child (児童))
- 3 **展開**：

活動内容	HRT	◆留意点 ★評価 ◎使用教材
【Greeting】 Hello. I'm ~. How are you?	○児童と一緒に挨拶をする。 Hello, everyone. How are you? Let's start our English Lesson.	◆全児童が声を出せるよう呼びかける。
【Let's Sing】 「Hello Song」 ○3回程度歌う。 【Let's Chant】 Hello!	○「Hello Song」を児童と一緒に歌う。 ○挨拶等のジェスチャーを考えさせる。	◎デジタル教材 ◎PC・プロジェクター ◎「Let's Try!」①p.3
めあて(板書)：相手に伝わるように挨拶をしよう。		
【Let's Watch and Think】 ○映像資料で挨拶と名前(自国の言葉と英語)を再度聞く。 ○世界の様々な言葉で挨拶をする練習をする。 ○相手を見つけて、世界の様々な言葉で挨拶をする。	○2回繰り返して聞かせた後に、答え合わせをする。 ○児童に実際に聞こえた通りに言わせる。 ○世界の様々な挨拶を練習する。	◎デジタル教材 ◎PC・プロジェクター ◎「Let's Try!」 ①pp.2-3
【Let's Listen】 ○挨拶を聞いて、国旗と線で結ぶ。	○人物を見て予め予想させる。 ○2回繰り返して聞かせた後に、答え合わせをする。	◎「Let's Try!」①p.4
【Activity】 ○教室を歩いてペアを作る。 ○相手を見つけて挨拶をした後、好きな野菜や果物、飲食物を伝えて名刺を交換する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> HRT がデモンストレーションを示す。 </div> 【活動の進め方】 ①一人5枚ずつ名刺カードを用意する。 ②出会った友達と世界の言葉で挨拶をする。 ③名刺カードを見せながら名前を言う。 ④好きなものを伝え合った後、名刺を交換する。 “Here you are.” “Thank you.” “Bye” に続く。 ⑤交換した名刺をワークシートに貼る。	◎名刺カード(5枚/人) ◎「Let's Try!」①p.5 ★名前と好きなものを紹介するなど相手に伝える工夫をして、挨拶し合っている。 知 ★相手に伝わるように名前を言って、挨拶をしようとしている。知
【Follow up】 ○振り返りカードに記入する。	○本時の目標について活動を振り返らせ、カードに記入させる。 ○本時の活動について児童から感想を聞く。	◆振り返りカードの記入内容を見て、指名する。
【Closing】		

月	時	単元名	主な学習語句	評価の観点		
				知	思	主
4	1	Lesson1 Hello, world! 世界のいろいろなことばで挨拶をしましょう	Hello. Good (morning / afternoon / night). I like (strawberries). Goodbye. See you.	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	3	Lesson2 Let's play cards. 好きな遊びを伝えよう	How's the weather? >It's (sunny / rainy / Cloud / snow). Let's (play cards). >Yes, let's. Sorry. Stand up. Sit down. Stop.	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	4			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	5			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	6	Lesson3 I like Monday. 好きな曜日は何かな?	What day is it? >It's (Monday). Do you like (Monday)? >Yes, I do. / No, I don't.	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	7			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	8			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	9			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	10	Lesson4 What time is it? 今、何時?	What time is it? >It's (8:30). >It's ("homework time"). 数字、日課、時間	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	11			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	12			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	13	Lesson5 Do you have a pen? おすすめの文房具セット	Do you have (a pen)? >Yes, I do. / No, I don't. I (have / don't have) (a pen). This is for you. 身の回りの物、状態、気持ち	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	14			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	15			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	16			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	17	Lesson6 Alphabet アルファベットで文字遊びをしよう	Look. What this? Hint, please. How many letters? >I have (six). Do you have (a "b")? >Yes, I do. / No, I don't. That's right. Sorry. Try again.	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	18			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	19			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	20			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11	21	Lesson7 What do you want? ほしいものは何かな?	What do you want? >I want (potatoes),please. How many? >(Two),please. Here you are. >Thank you. 果物、野菜、飲食物	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	22			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	23			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	24			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12	25	Lesson8 This is my favorite place. お気に入りの場所をしょうかいしよう	Go straight. Turn to (right / left). Stop. This is (the music room). This is my favorite place. Why? I like (music).	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	26			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	27			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
1	28	Lesson9 This is my day. ぼく・わたしの一日	I wake up (at 6:00). I have breakfast (at 7:00). I go to school. I go home. 日課	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	29			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	30			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	31			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	32			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	33			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	34			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	35			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

第4学年 Lesson 1

単元名 世界のいろいろなことばであいさつをしよう Hello, world!	
単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な挨拶の仕方があることに気付くとともに様々な挨拶の言い方に慣れ親しむ。 ○友達と挨拶をして自分の好みなどを伝える。 ○配慮しながら友達と挨拶をして自分の好みなどを伝え合おうとする。

指導と評価の計画(2時間)

時	目標	学習内容	評価		
			知	思	主
1	○世界には様々な挨拶の仕方があることに気付くとともに好きなものを言って挨拶をすることに慣れ親しむ。	<ul style="list-style-type: none"> ○映像を見て世界の国の様々な挨拶について気付いたことを□欄に書く。 ○音声を聞いてどの国の挨拶なのかを考え、分かったことを記入する。 ○私は誰でしょうゲームをする。 	○		
2	○相手に配慮しながら友達と好きなものやこと、嫌いなものやことを言って挨拶をしたり尋ねたりして気持ちよく挨拶をしようとする。	<ul style="list-style-type: none"> ○分かったことを□欄に記入する。 ○音声を聞き登場人物の名前や好きなものなどを聞き取って□欄に記入する。 ○教室内でペアを作る。 ○ペアで挨拶をした後、好きなものやこと、嫌いなものやことを尋ねたり答えたりして、名刺を交換する。 			○

※評価の3観点 ㊦：知識・理解 ㊧：思考力・判断力・表現力 ㊨：主体的に学習に取り組む態度

4年

Lesson 1

Hello, world!

世界のいろいろなことばであ
いさつをしよう

1 / 2

- ねらい：世界には様々な挨拶の仕方があることに気付くとともに、好きなものと言って挨拶することに慣れ親しむ。
- 留意点：HRT(Home Room Teacher (学級担任)) C (Children (児童))
- 展開：

活動内容	HRT	◆留意点 ★評価 ◎使用教材
【Greeting】 Hello. I'm ~. How are you?	○児童と一緒に挨拶をする。 Hello, everyone. How are you? Let's start our English Lesson.	◆全児童が声を出せるよう呼びかける。
【Let's Chant】 Hello!	○「Let's Try!」①p.3に入っているチャンツを児童と一緒に歌う。	◎「Let's Try!」①p.3 ◎デジタル教材 ◎PC・プロジェクター
めあて(板書)：自分が好きなものと言って挨拶をしよう。		
【Let's Watch and Think】 ○映像を見て、世界の色々な国のあいさつについて、気付いたことを口を書く。	○2回繰り返して聞かせた後に、答え合わせをする。 ○アルファベットの文字以外にも様々な文字、書き表し方があることに気付かせる。	◎「Let's Try!」①p.3 ◎デジタル教材 ◎PC・プロジェクター ★世界の様々な挨拶の違いに気づき、分かったことを書いている。④
【Let's Listen 1】 ○音声を聞いてどの国のあいさつかを考え、分かったことを記入する。	○2回繰り返して聞かせた後に、答え合わせをする。 ○聞き取った様々な言語の挨拶を使ってペアで挨拶をさせる。	◎国旗カード(教員用)
【Let's Play】 ○挨拶をする。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> HRT がデモンストレーションを示す。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 【活動の進め方】 C1 : Hello. Nice to meet you. My name is ~. C2 : Hello. Nice to meet you. My name is ~. C1 : I like strawberries. How about you? C2 : You like strawberries? That's good. I like bananas. C1 : Great. Thank you. C2 : Thank you. </div>	◎「Let's Try!」①p.4 ★I like ~.の表現を使って挨拶することに慣れ親しんでいる。④ ◎好きなものを表す絵カード(教員用・児童用)
【Follow up】 ○単元の見通しをもち、目標を立てる。 ○振り返りカードに頑張りたいことややってみたいことを記入する。	○本時の目標について活動を振り返らせ、カードに記入させる。 ○本時の活動について児童から感想を聞く。	◆振り返りカードの記入内容を見て、指名する。
【Closing】		

- ねらい:**相手に配慮しながら友達と好きなものやこと、嫌いなものやことと言って挨拶をしたり尋ねたりして気持ちよく挨拶をしようとする。
- 留意点:** HRT (Home Room Teacher (学級担任))
- 展開:**

活動内容	HRT	◆留意点 ★評価 ◎使用教材
【Greeting】 Hello. I'm ~. How are you?	○児童と一緒に挨拶をする。 Hello, everyone. How are you? Let's start our English Lesson.	◆学校や学級の実態に応じて挨拶の言葉やルールを考える。 ◆全児童が声を出せるよう呼びかける。
【Let's Chant】 Hello!	○「Let's Try!」①p.3に入っているチャンツを児童と一緒に歌う。 ○挨拶等のジェスチャーを考えさせる。	◎「Let's Try!」①p.3 ◎デジタル教材 ◎PC・プロジェクター
めあて(板書):好きなものやこと、嫌いなものやことを尋ねたり答えたりして気持ちよく挨拶をしよう。		
【Let's Watch and Think】 ○分かったことを□に記入する。 【Let's Listen 2】 ○音声を聞いて登場人物の名前や好きなものなどを聞き取り□に記入する。 【Activity】 ○教室内を歩いてペアを作る。 ○ペアで挨拶をした後、好きなものやこと、嫌いなものやことを尋ねたり答えたりして名刺を交換する。	○2回繰り返して聞かせた後に、答え合わせをする。 ○日本語でも午前や午後、就寝前等、時や場面に応じた挨拶があり、英語でも同様であることに気付かせる。 ○英語には時間帯を超えて、共通に使える“hello”, “hi”があることに気付かせる。 ○児童の実態に応じて、途中で止めるなどして児童が聞き取ることができたとき自信を持てるようにする。	◎「Let's Try!」①p.4 ◎「Let's Try!」①p.5 ◎名刺カード (5枚/人) ★相手に配慮しながら “I like ~. I don't like ~. How about you?”の表現を用いて、好きなものやこと、嫌いなものやことを尋ねたり答えたりして挨拶しようとする。④
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>HRT がデモンストレーションを示す。</p> <p>【活動の進め方】</p> <p>①一人5枚ずつ名刺カードを用意する。 名刺に国旗を付けておき、その国の言葉ではじめの挨拶をする。名刺、好きなものやこと、嫌いなものやことを言い、名刺を渡す。</p> <p>②友達とそれぞれの国の言葉で挨拶をし、名前、好きなものやこと、嫌いなものやことを伝え合った後、名刺を交換する。 “Here you are.” “Thank you.” “Bye” で次に行く。</p> <p>③交換した名刺をワークシートに貼る。</p> </div>		
【Follow up】 ○振り返りカードに記入する。 【Closing】	○本時の目標について活動を振り返らせ、カードに記入させる。 ○本時の活動について児童から感想を聞く。	◆振り返りカードの記入内容を見て、指名する。

月	時	単元名	時数	月	時	単元名	時数
4	1	Lesson1 Hello, everyone. アルファベット 自己紹介		10	36	Lesson5	
	2				37	She can run fast.	
	3				38	He can jump high. できること	
	4				39	Lesson6 I want to go to Italy. 行ってみたい国や地域	
5	5	40					
	6	41					
	7	42					
6	8		43				
	9		44				
	10		45				
6	11	Lesson2		11	46	Lesson7 What's your favorite place in Higashiyamato? 東大和市を紹介しよう！ 『Welcome to Higashiyamato』	
	12	When is your birthday?					
	13	誕生日はいつ？					
	14	Lesson3 What do you have on Monday? 学校生活、教科、職業			47		
	15				48		
	16				49		
7	17		12	50			
	18			51			
	19			52			
	20			53			
	21			54			
7	22		1	55	Lesson8 What would you like? 料理・値段		
	23			56			
	24			57			
	25			58			
9	26	Lesson4		2	59	Lesson9 Who is your hero? あこがれの人	
	27	What time do you get up?					
	28	一日の生活					
	29	Lesson5 She can run fast. He can jump high. できること			60		
	30				61		
9	31		3	62			
	32			63			
	33			64			
	34			65			
10	35				66		
					67		
					68		
					69		
					70		

第5学年 Lesson7

単元名 東大和市を紹介しよう！ What's your favorite place in Higashiyamato?	
単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ○東大和市に関するお気に入りの場所やものを聞いたり言ったりすることができる。【知識・技能】 ○東大和市に関するお気に入りの場所やものについて伝え合ったり例文を参考に語順を意識しながら書いたりする。【思考力・判断力・表現力】 ○他者に配慮しながら東大和市に関するお気に入りの場所や者について伝え合おうとする。【主体的に学習に取り組む態度】

単元の評価規準

知識・理解	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
○東大和市に関するお気に入りの場所やものについて聞いたり言ったりすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ○東大和市に関するお気に入りの場所やもの、その理由について伝え合っている。 ○お気に入りの場所を自分で選択し、語順を意識して書き写している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○単元の見通しをもち、自分なりの目標を立てるなど意欲的に取り組もうとしている。 ○他者に配慮しながら東大和市に関するお気に入りの場所やもの、その理由について伝え合おうとしている。

指導と評価の計画(8時間)

時	目標	学習内容	評価			
			知	思	主	評価規準
1	<ul style="list-style-type: none"> ○東大和市内のお気に入りの場所について、聞いたり言ったりすることができる。 ○単元の見通しをもち、自分なりの目標を立てるなど意欲的に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○スリーヒント・クイズをする。 ○ポインティング・ゲームをする。 ○お気に入りの場所について、聞いたり言ったりする。 	○		○	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ “What's your favorite～ in Higashiyamato?” を使用して、お気に入りの場所やものについて聞いたり言ったりすることができる。 ㊧ 単元の見通しをもち、自分なりの目標を立てるなど意欲的に取り組もうとしている。
2	<ul style="list-style-type: none"> ○東大和市内のお気に入りの場所について、聞いたり言ったりすることができる。 ○お気に入りの場所について、語順を意識して書き写す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ポインティング・ゲームをする。 ○相手を見付けてお気に入りの場所について、聞いたり言ったりする。 ○お気に入りの場所を書き写す。 	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ㊦ “What's your favorite～ in Higashiyamato?” “My favorite～in Higashiyamato is (場所やもの)” の表現を使うことができる。 ㊧ 東大和市内のお気に入りの場所を自分で選択し、語順を意識して書き写している。
3	○東大和市内のお気に入りの場所について、その理由を言うことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ポインティング・ゲーム(形容詞)をする。 ○お気に入りの場所について、聞いたり理由を含めて答えたりする。 ○音声を聞いて最初の小文字をワークシートに書く。 	○			㊧ 東大和市内のお気に入りの場所やものについて、理由を言うことができる。
4	○東大和市内のお気に入りの場所について、理由を言ったり理由を含めて答えたりすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ポインティング・ゲーム(形容詞)をする。 ○お気に入りの場所について、グループで聞いたり答えたりする。 ○音声を聞いて繰り返し言った後、単語を選んで書 	○			㊦ “What's your favorite～ in Higashiyamato?” を使用してお気に入りの場所やものについて、グループで理由を聞いたり答えたりすることができる。

		き写す。					
5	○東大和市内のお気に入りの場所やものについて、理由を含めて伝え合う。 ○相手を見付けて東大和市内のお気に入りの場所等について、伝え合おうとしている。	○ALTのお気に入りの場所やものについて、理由を聞き取る。 ○インタビューをする。 ○スリーヒント・クイズを作る。			○	○	㊸ “What’s your favorite～ in Higashiyamato?” を使用して相手のお気に入りの場所やものを尋ねたり理由を含めて答えたりしている。 ㊹ 相手を見付けて伝え合おうとしている。
6	○スリーヒント・クイズを通して東大和市内のお気に入りの場所やものについて、理由を含めて伝え合う。	○スリーヒント・クイズを出し合う。			○		㊸ スリーヒント・クイズを通して相手のお気に入りの場所を尋ねたり理由を含めて答えたりしている。
7	○東大和市内のお気に入りの場所やものの理由について、相手に分かりやすいように伝え合う。	○ALTのお気に入りの場所やものについて、理由を聞き取る。 ○お気に入りランキング調べをする。			○		㊸ お気に入りの場所やものの理由について尋ねたり相手が分かりやすいように答えたりしている。
8	○相手に配慮しながら東大和市内のお気に入りの場所やものについて、尋ねたり答えたりしようとしている。 ○東大和市内のお気に入りの場所やものの理由について、伝え合う。	○お気に入りランキング調べの集計をする。 ○お気に入りランキングの発表をする。			○	○	㊹ 相手に配慮しながら東大和市内のお気に入りの場所やものについて、尋ねたり答えたりしている。 ㊸ 東大和市内のお気に入りランキングの結果について、尋ねたり答えたりしている。

※評価の3観点 ㊸：知識・理解 ㊹：思考力・判断力・表現力 ㊺：主体的に学習に取り組む態度

※既習事項を活用しながら、話し手が相手の話した言葉を繰り返して伝えたい内容を確認めたり相手の話したことに反応を示したりすることで対話を続ける児童は「十分満足」とみなす。

CAN-DOリスト

領域	CAN-DO
聞くこと	東大和市内のお気に入りの場所やものに関する話を聞き取ることができる。
読むこと	東大和市内のお気に入りの場所やものに関する簡単な語句や表現の意味が分かる。
話すこと (やり取り)	東大和市内のお気に入りの場所やものについて、尋ねたり自分の考えや気持ちを含めて答えたりすることができる。
話すこと (発表)	東大和市内のお気に入りの場所やものについて、理由も含めて話すことができる、
書くこと	東大和市内のお気に入りの場所やものについて、音声で十分慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができる。

- ねらい:** (1) 東大和市に関するお気に入りの場所について尋ねたり、伝えたりすることができる。
(2) 単元の見通しをもち、自分なりの目標を立てるなど意欲的に取組もうとする。
- 留意点:** HRT(Home Room Teacher (学級担任)) C (Children (児童))
- 展開:**

活動内容	HRT	◆留意点 ★評価 ◎使用教材
【Greeting】 Hello. How are you?	○児童と一緒に挨拶をする。 Hello, everyone. How are you? Let's start our English class.	◆学校や学級の実態に応じて挨拶の言葉やルールを考える。 ◆全児童が声を出せるよう呼びかける。
【Let's Chant】 Hello song 【Input time】 ○「Welcome to Higashiyamato」のマップを提示する。	○Hello song を元気に歌う。 ○おすすめスポットのアンケート結果を発表する。学校の近くで紹介したい場所、おすすめの場所の言い方を知る。	◆おすすめスポットをまとめておき、その場所や建物の写真を用意する。黒板に掲示をしながら、英語の言い方を伝える。(建物絵カード「公園」「本屋」、「駅」、「スーパー」、「花屋」等)
めあて(板書)：東大和市のおすすめスポットを伝え合い、クラスのスポットランキングを決めよう。		
【Let's Play】 ○キーワード・ゲームをする。 【Practice】 ○おすすめスポットの尋ね方・伝え方を練習する。 【Activity】 ○インタビューをする。	児童はペアを作り、消しゴムを中央に置く。教師が言う場所や建物の名前を全員で繰り返し、キーワードを言った時だけ消しゴムを取る。 ※キーワードが station の場合 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> HRT がデモンストレーションを示す。 【活動の進め方】 T1: Where is favorite your place? T2: My favorite place is ~. ○繰り返し練習をする。 </div> ○Where is your favorite place? の表現を使ってクラスのおすすめスポットランキングを決定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> HRT がデモンストレーションを示す。 【活動の進め方】 C1: Hello. C2: Hello. C1: Where is your favorite place? C2: My favorite place is ~. ※C1 が終わったら、C2 が尋ねる。 </div> ○インタビューの結果を共有し、クラス全体のおすすめスポットランキングを決定する。	○場所や建物の名前からキーワードを決めて児童に示す。キーワードを変えて何度かゲームをする。 ◆繰り返しの練習の仕方を工夫する。 ◎ワークシート使用する。 ◆おすすめ場所にシールを貼る。 ★Where is your favorite place? の表現を使って尋ねたり答えたりすることができる。㊦
【Looking back】 ○振り返りカードにわかったこと、気づいたことを記入する。 【Closing】	○本時の活動を振り返り、カードに記入する。 ○本時の活動について児童から感想を聞く。 ○児童と一緒にあいさつをする。	

月	時	単元名	時数	月	時	単元名	時数					
4	1	Lesson1 This is ME! 自己紹介		10	36	Lesson5 My Summer Vacation. 夏休みの思い出	5					
	2				37							
	3				38							
	4				39							
5	5	Lesson2 Where are you going? 東大和市を案内しよう！ 『Welcome to Higashiyamato』	8		40	Lesson6 What do you want to watch? オリンピック・パラリンピック	6					
	6				41							
	7				42							
	8				43							
	9				44							
	10				45							
6	11	Lesson3 He is famous. She is great. 人物紹介	8	11	46	Lesson7 My Best Memory 小学校生活・思い出	8					
	12				47							
	13				48							
	14				49							
	7			15	Lesson4 I like my town. 自分たちの町・地域			8	12	50	Lesson8 What do you want to be? 将来の夢・職業	8
				16						51		
				17						52		
				18						53		
9	19	Lesson5 My Summer Vacation. 夏休みの思い出	3	3	54	Lesson9 Junior High School Life 中学校生活・部活動	8					
	20				55							
	21				56							
	22				57							
	23				58							
	24				59							
10	25				60							
	26				61							
	27				62							
	28				63							
	29				64							
	30				65							
	31				66							
	32				67							
	33				68							
	34				69							
	35				70							

第6学年 Lesson2

単元名 東大和市を案内しよう！ Where are you going?	
単元目標	<p>○東大和市内の道案内で、場所を尋ねたり答えたりする表現を聞いたり言ったりすることができる。また、例を参考にして簡単な語句を書くことができる。【知識・技能】</p> <p>○東大和市内の道案内で、場所を尋ねたり答えたり簡単な語句を推測しながら読んだりする。【思考力・判断力・表現力】</p> <p>○他者に配慮しながら、東大和市内の道案内をしようとする。【主体的に学習に取り組む態度】</p>

単元の評価規準

知識・理解	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<p>○東大和市内の場所を表す語句や道案内で用いる簡単な表現を聞き取り、概要を理解できる。</p> <p>○東大和市内の場所を尋ねたり答えたりすることができる。</p> <p>○東大和市内の場所を表す語句や例を参考に道案内で用いる簡単な表現を書くことができる。</p>	<p>○東大和市内の場所について、道順を尋ねたり答えたりしている。</p> <p>○東大和市内の場所を表す語句や道案内で用いる簡単な表現を推測しながら読んでいる。</p>	<p>○単元の見通しをもち、自分なりの目標を立てながら意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>○他者に配慮しながら道案内をしようとしている。</p>

指導と評価の計画(8時間)

時	目標	学習内容	評価			
			知	思	主	評価規準
1	<p>○どこへ行くのか尋ねたり答えたりする表現を、言ったり聞いたりすることができる。</p> <p>○単元の見通しをもち、自分なりの目標を立てながら意欲的に取り組もうとしている。</p>	<p>○ポインティング・ゲームをする。</p> <p>○インタビューをする。</p> <p>○A L Tの発音を聞いて最初の小文字を書く。</p>	○		○	<p>㊦ “Where are you going?” や “I’m going to～” の表現を使って尋ねたり答えたりすることができる。</p> <p>㊧ 単元の見通しをもち、自分なりの目標を立てるなど意欲的に取り組もうとしている。</p>
2	<p>○相手を見付けて東大和市内にある場所について、どこへ行くのか尋ねたり答えたりする。</p> <p>○簡単な語句について例を参考に書くことができる。</p>	<p>○映像資料を視聴し、イラストを線で結ぶ。</p> <p>○インタビューする。</p> <p>○行きたい場所を1つ選び、例を参考に書く。</p> <p>○絵や文字を見ながら、読み聞かせを聞く。</p>	○	○		<p>㊦ “Where are you going?” や “I’m going to～” の表現を用いて尋ねたり、答えたりしている。</p> <p>㊧ 東大和市内にある場所等の簡単な語句について例を参考に書くことができる。</p>
3	<p>○東大和市内の場所や建物を表すには、一般的な場所や建物の名称に固有名詞を付ければよいことに気付き、語句を推測しながら読む。</p>	<p>○ポインティング・ゲームをする。</p> <p>○どこへ行くの?ゲームをする。</p> <p>○Opp.1-14にある場所の中から1つ選び、書き写す。</p>			○	<p>㊦ 一般的な場所や建物の名称に固有名詞を付ければよいことに気付き、東大和市内の場所や建物を表す語句を推測しながら読んでいる。</p>
4	<p>○東大和市内の場所や建物を表すには、一般的な場所や建物の名称に固有名詞を付ければよいことに気付き、語句について例を参考に書くことができる。</p>	<p>○ポインティング・ゲームをする。</p> <p>○建物の場所の名前を聞いたり答えたりする。</p> <p>○Opp.15-16の場所の中からお気に入りのものを1つ選び、例を参考に書く。</p>	○			<p>㊦ 東大和市内の建物を表す語句について例を参考に書くことができる。</p>
5	<p>○東大和市にある場所や建物を表す語句をいうこと</p>	<p>○A L Tの話聞く。</p> <p>○学校周辺にある場所を英</p>	○			<p>㊦ “City Hall” に “Higashiyamato” を付けて</p>

	ができる。	語でいう。				いうなど東大和市内にある身近な場所を英語で言うことができる。
6	○動作を表す表現を用いた道案内を聞き取ることができる。	○東大和ビンゴゲームをする。 ○目的地を探せゲームをする。	○			㊦ “Go straight.” “Turn left.” “Turn right.” といった動作を表す表現を用いた道案内を聞き取ることができる。
7	○色々な言い方で道案内をする。	○A L Tの指示に従って地図上を進み、空き地に建物等の名称を書き込む。		○		㊦ “Go straight for～blocks.” という表現等、色々な言い方で東大和市内の道案内をしている。
8	○他者に配慮しながら、東大和市内の道案内をしようとする。 ○色々な言い方で東大和市内の道案内をする。	○駅、郵便局、スーパーマーケット、ファーストフード店等を地図上の自分で決めた場所書き込む。 ○相手に道案内をすることを想定し、どのように道案内をすればよいのかを考え、練習する。 ○東大和市を道案内する。		○	○	㊦相手に分かりやすいように道案内をしている。 ㊦ “Go straight for～blocks.” “Turn left.” “Turn right.” といった表現を用いて道案内をしている。

※評価の3観点 ㊦：知識・理解 ㊦：思考力・判断力・表現力 ㊦：主体的に学習に取り組む態度

※既習事項を活用しながら、話し手が相手の話した言葉を繰り返して伝えたい内容を確認めたり相手の話したことに反応を示したりすることで対話を続ける児童は「十分満足」とみなす。

CAN-DOリスト

領域	CAN-DO
聞くこと	東大和市内の道案内で場所を尋ねたり答えたりする表現を聞き取り、概要を捉えることができる。
読むこと	東大和市内の道案内で、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現推測して読むことができる。
話すこと (やり取り)	東大和市内の道案内で場所を尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。
話すこと (発表)	東大和市内の道案内をすることができる。
書くこと	東大和市内の場所や建物を表す語句について例文を参考に書くことができる。

- 1 **ねらい**：(1) どこへ行くのか尋ねたり答えたりする表現を言ったり聞いたりすることができる。
(2) 単元の見通しをもち、自分なりの目標を立てるなど意欲的に取組もうとする。
- 2 **留意点**：HRT(Home Room Teacher (学級担任)) C (Children (児童))
- 3 **展開**：

活動内容	HRT	◆留意点 ★評価 ◎使用教材
【Greeting】 Hello. I'm ~. How are you?	○児童と一緒に挨拶をする。 Hello, everyone. How are you? Let's start our English Lesson.	◆学校や学級の実態に応じて挨拶の言葉やルールを考える。 ◆全児童が声を出せるよう呼びかける。
【Small Talks】 ○「Welcome to Higashiyamato」のマップを参考にお気に入りの場所等とその理由について話す。(2回) ※第5学年 Lesson7 の復習	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">HRT がデモンストレーションを示す。</div> C1: What's your favorite place in Higashiyamato? C2: My favorite place is Lake Tama. C1: Your favorite place is Lake Tama? Why? C2: Because, It's beautiful in summer. C1: What's beautiful in summer? C2: We have beautiful blue sky and blue water. C1: That good. Let's go to Lake Tama in July. C2: OK, let's go.	◎「Welcome to Higashiyamato」 ◆1回目の対話を行った後、児童が英語で表現できなかったことがなかを確認する。 ◆会話が続くようにする。
めあて(板書)：東大和市内の場所について、どこへ行くのか尋ねたり答えたりしよう。		
【Let's Chant】 Where in the treasure? 【Let's Play】 ○ポインティングゲーム ○ペアで活動する。	○チャンツを聞かせ、どのような単語が聞こえてきたかを発表させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">HRT がデモンストレーションを示す。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 【活動の進め方】 二人の児童の机間に「Welcomr to Higashhiyamato」を置く。 C: Where are you going? T: I'm going to Higashiyamto City folk museum. C: (東大和市郷土博物館の写真を早く指した方が勝ち) You're going to Higashiyamto City folk museum? C: Where are you going? T: I'm going to Electric substaition of old hitachi Aircraft Co., Ltd. Tachikawa factory. C: (旧日立航空機株式会社変電所の写真を早く指した方が勝ち) </div> ○上記デモンストレーションを児童が相互で行う。	◎デジタル教材 「We can!①Unit7」 ◎PC・プロジェクター ◎「Welcome to Higashiyamato」 ★“Where are you going?”や“I'm going to ~.”の表現を使って尋ねたり答えたりすることができる。 ③ ◎4線紙
【Activity】 ○インタビューをしよう。 ○ペアで活動する。 【Let's Read and Write】 ○HRTに続いて発音する。 ○発音した語句の最初の小文字を書き写す。	○正確に書くことができるか机間指導する。 ○答え合わせの際は小文字を読ませる。	
【Follow up】 ○振り返りカードに頑張りたいこと、やってみたいことを記入する。 ○単元の目標を知る。	○本時の目標について活動を振り返らせ、カードに記入させる。 ○本時の活動について児童から感想を聞く。 ○単元の目標を伝える。	★単元の見通しをもち、自分なりの目標を立てるなど意欲的に取組もうとしている。④
【Closing】		

第3章 中学校外国語科モデルカリキュラム

FSS

First Step School

3

時間

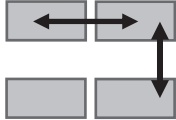
時数	題材名	内容	技能			
			聞く	話す	読む	書く
1	○エンカウンター 他者理解	○挨拶をする。 ○自己紹介をする。 ○自分の物、他者の物について伝え合う。	○	○		
2	○エンカウンター 社会性の習得	○教科担任の呼名に返答する。 ○挨拶の仕方を学ぶ ○クラスルームイングリッシュを用いて小学校第5・6 学年の復習	○	○		

1 エンカウンター（他者理解）

1 目標

出身小学校の異なる児童が交流を深め、相互理解を図る。

2 本時の展開例

活動内容	T1(中学校教員)	T2(小学校教員)	◆留意点 ★評価 ◎使用教材
【Greeting】 Hello. I'm ~. How are you?	○児童と一緒に挨拶をする。 Hello, everyone. How are you? Next, you can greet T2.	Hello, everyone. How are you? Let's enjoy today's lesson.	◆指示は all English ◆ICQs に努める。 Instruction Checking Questions 児童へ理解を強要せず、確認することに努める。
【Activity 1】 ○自己紹介しよう。 ○T1 と T2 のデモンストレーションを聞いて、自己紹介をする。 ○ペアワークの中で相手の新しい一面を知る。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">T1 と T2 によるデモンストレーション</div>		◆アイコンタクトできるよう、座席の位置取りを下図のようにする。 
【Activity 2】 ○「これはあなたの～ですか。」と問う。 ○言い方を練習する。 ○全児童が立って聞き合う。 ○手元のカードがなくなり、自分の蟻を描いたカードが戻れば座る。	Please draw an ant. Don't write your name. Please memorize your ant. Is this your ant? Whose ant is this?	Yes, it is. / No, it isn't. It's mine.	◎A5 版の白紙のカードを配布 ◆2分～3分で蟻の絵を描かせる。 ◆絵をランダムに生徒へ配布する。自分の蟻のカードが来たら再度混ぜて配布する。 ◆時間で区切り、残ったカードは T1、T2 が回収する。
【Closing】 ○挨拶をする。	Good-bye, everyone. Good-bye, Mr. / Ms. ~		◆明るく元気に終えて次時へつなげる。

2 エンカウンター（社会性の習得）（1）

1 目標

中学校生活における集団活動や社会における生活、人間関係をよりよく形成するための素地を養う。

2 本時の展開例

活動内容	T1(中学校教員)	T2(小学校教員)	◆留意点 ★評価 ◎使用教材
【Greeting】 Hello. I'm ~. How are you?	○児童と一緒に挨拶をする。 Hello, everyone. How are you? Next, you can greet T2.	Hello, everyone. How are you? Let's enjoy today's lesson.	◆指示は all English ◆ICQs に努める。 Instruction Checking Questions 児童へ理解を強要せず、確認することに努める。
【Activity 1】 ○クラスルームイングリッシュの練習をする。	T1 と T2 によるデモンストレーション		
	Stand up. Sit down.	○「立つ」「座る」の動作を実演する。	★英語の音とアクションが一致している。
【Activity 2】 ○Do the action! ○Matching game! ○Pelmanism (神経衰弱ゲーム)	○絵カードを裏にして T1、T2 の間に置く。 ○絵カードを引き、描いている絵のアクションを演ずる。(Stand up カードの場合は実際に立つ。絵カードは相手に見せない。) ○絵カードを 1 2 枚並べる。 ○絵カードと文字カードをそれぞれ裏にしてランダムに置く。	○英語で“Stand up”と言う。 ○絵カードがなくなるまで行う。 ○文字カードを絵カードと合うように並べる。 ○文字カード初めに引き、発音する。次に絵カードを引き、絵と文字が合致すれば取得する。 ○絵と文字の合に関わらず、T1、T2 が交互に行う。	◎絵カード(1 2枚) ◆ペアワーク ◎絵カード(1 2枚) ◎文字カード(1 2枚) ◎絵と文字のカードの色を変える。 ◆4人グループ
【Closing】 ○挨拶をする。	Good-bye, everyone. Good-bye, Mr. / Ms. ~		◆明るく元気に終えて明日つなげる。

3 エンカウンター（社会性の習得）（2）

1 目標

- (1) 中学校生活における集団活動や社会における生活、人間関係をよりよく形成するための素地を養う。
- (2) 第6学年で学んだ「Welcome to Higashiamato」を復習して東大和市の案内をする。

2 本時の展開例

活動内容	T1(中学校教員)	T2(小学校教員)	◆留意点 ★評価 ◎使用教材
【Greeting】 Hello. I'm ~. How are you?	○児童と一緒に挨拶をする。 Hello, everyone. How are you? Next, you can greet T2.	Hello, everyone. How are you? Let's enjoy today's lesson.	◆指示は all English ◆ICQs に努める。 Instruction Checking Questions 児童へ理解を強要せず、確認することに努める。
【Activity】 ○Introduction ○相互に質問し合う（日本語で可）。 ○案内に関する単語を確認する。 ○Do a mine quiz. ○体を使ってチェックする。 ○Information gap 2種類の簡易地図を用いて道案内をする。	T1 と T2 によるデモンストレーション		◆ペアワーク ◎「Welcome to Higashiyamato」のリーフレットと中学校区の最寄り駅周辺の簡易地図を準備する。 ◆4人グループ ◆簡易地図を配布する。
【Closing】 ○挨拶をする。	Good-bye, everyone. Good-bye, Mr. / Ms. ~		◆明るく元気に終えて中学校へつなげる。

時数	題材名	内容	技能			
			聞く	話す	読む	書く
1	○オリエンテーション CAN-DO リストチェック	○小学校外国語科の振返りをする。				
1	○自己紹介をしよう	○挨拶の仕方を学ぶ ○小学校外国語科の振返りをする。 ○自己紹介をする。	○	○		
3	○アルファベットを覚えよう ○単語の音と綴りに親しもう	○アルファベットの発音、大文字小文字を覚える。 ○基本表現、単語、発音と綴りに慣れる。 ○『わくわく WRITING』の使い方を理解する。 ○基本表現、単語、発音と綴りに慣れる。	○	○	○	○
1	○数字	○数字を聞いてカタカナの音との違いを理解して使う。	○	○		
2	○be 動詞	○am / are を理解して使う。	○	○	○	○

1 自己紹介をしよう

1 目標

小学校外国語科で学習した既習事項を用いて自己紹介をする。

2 本時の展開例

活動内容	T1	T2(ALT)	◆留意点 ★評価 ◎使用教材
○挨拶をする。 Hello, ～. I'm ～. Thank you and you? T1 とのやりとりを T2 と行う。	Hello, everyone! How are you? I'm ～. Next, you can greet T2.	Hello, everyone. How are you? I'm ～. Let's enjoy today's lesson.	◆全員が声を出しているか確認する。
○歌を歌う。(The Beatles) 「HELLO.GOODBYE」 ※小学校外国語科で歌ったものと同じ曲を選曲する。	○外国語活動時の取組みを思い起こし、生徒に歌うよう働きかける。	○生徒が楽しく歌えるよう働きかける。 Let' sing a song.	◎CD
○T1 と T2 のデモンストレーションを聞いて、自己紹介の仕方を思い出す。	T1 と T2 によるデモンストレーション		
	Hello. I'm Hanako Yamada. I'm from Japan. Please call me Ms. Yamada I like sports. I play tennis every Sunday. I like karaoke too. Thank you.	Hello. I'm James Martin. I'm from Canada. Please call me Jimmy. I like sports. I play soccer every Sunday. I like baseball too. Thank you.	
○自己紹介の内容について簡単な復習クイズをする。	○理解できない生徒を支援する。	○自己紹介の内容に応じて生徒に3択の質問をする。 What is my name? Where am I from? What sports do I like?	◆列ごとにチームを分けて挙手で答えさせる。 ◆正答者が多かったチームが勝ちとする。
○自己紹介をする。 ・全員で発話練習 ・2分程度の個人練習 ・一人ずつ発表	○自己紹介に盛り込む内容を伝える。 Hello. My name is... I'm from... I like... I want be a... Thank you.	○T1 による自己紹介の方法の説明を手助け手発音する。 ○表現できない生徒を支援する。	◆自己紹介をする順を示す。 ★提示された内容を含んで自己紹介をしている。
○挨拶をする。	Good-bye, everyone. Good-bye, Mr./Ms.～. See you.		◆全員が声を発しているか確認する。

2 アルファベットを覚えよう、単語の音とつづりに親しもう（1）

1 目標

アルファベットの発音を理解する。

2 本時の展開例

活動内容	T1	T2(ALT)	◆留意点 ★評価 ◎使用教材
○挨拶をする。 Hello, ～. I'm ～. Thank you and you? T1 とのやりとりを T2 と行う。	Hello, everyone! How are you? I'm ～. Next, you can greet T2.	Hello, everyone. How are you? I'm ～. Let's enjoy today's lesson.	◆全員が声を出しているか確認する。
○アルファベットのカードを見て発音する。	○全員が声を発しているか確認する。 ○ABC song を歌うよう伝える。 ○一人一人に大文字のアルファベットを並べさせ、誰が早いかを競わせる。	○大文字と小文字のフラッシュカードを見せながらアルファベットの使用方法を確認する。 ○一人一人に発音させる。 ○列の指定の仕方をかえるなどして複数回練習する。	◆A～Z、Z～A など順を変えて発音させる。 ◎アルファベットカード ◎CD ★示されたフラッシュカードのアルファベットを発音できる。
○身の回りの言葉を覚える。 ・教科書に掲載されている単語の発音の練習 ・単語の意味を知る。 ・早指しゲームをする。	○生徒に意味を質問する。 ○生徒の答えた意味が正しいか確認する。	○教科書を投影して単語を指しながら発音する。	◎プロジェクター
<p>【活動の進め方】</p> <p>○T1 と T2 のデモンストレーションを見せる。</p> <p>①ペアで机を向い合せにする。</p> <p>②1冊の教科書を二人の間に置く(ページ指定)</p> <p>③T2 が発音した単語を早く指さした方が勝ちとなる。</p>			
○挨拶をする。	Good-bye, everyone. Good-bye, Mr./Ms.～. See you.		◆全員が声を発しているか確認する。

3 アルファベットを覚えよう、単語の音とつづりに親しもう（2）

1 目標

アルファベットを書くことを通して、音と結び付けて覚える。

2 本時の展開例

活動内容	T1	T2(ALT)	◆留意点 ★評価 ◎使用教材
○挨拶をする。 Hello, ～. I'm ～. Thank you and you? T1 とのやりとりを T2 と行う。	Hello, everyone! How are you? I 'm ～. Next, you can greet T2.	Hello, everyone. How are you? I'm ～. Let's enjoy today's lesson.	◆全員が声を出しているか確認する。
○歌を歌う。	○ABC song を歌うよう伝える。 ○全員が声を発しているか確認する。	○ABC song を歌う。 Let's sing "Alphabet song" together.	◎CD
○アルファベットのカードを見て発音する。	○全員が声を発しているか確認する。 ○ABC song を歌うよう伝える。 ○一人一人に小文字のアルファベットを並べさせ、誰が早いかを競わせる。	○大文字と小文字のフラッシュカードを見せながらアルファベットの使い方を確認する。 ○一人一人に発音させる。 ○列の指定の仕方を変えるなどして複数回練習する。	◆A～Z、Z～A など順を変えて発音させる。 ◎アルファベットカード ◎CD
○ビンゴをする。	○正確に書くことができているか確認する。	○ビンゴの空欄にアルファベットを記入させる。 We are going to do "The Alphabet BINGO." Write alphabet letters in the spaces on your bingo sheet. Now, I'll say the alphabet letters. Listen carefully please.	◎ワークシート ★アルファベットと音を結び付けて覚えている。
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>【活動の進め方】</p> <p>①ビンゴの空欄にアルファベットを記入する。</p> <p>②T2 が発音するアルファベットを聞き、マスをチェックする。</p> <p>③ビンゴした生徒は挙手する。</p> </div>			
○挨拶をする。	Good-bye, everyone. Good-bye, Mr./Ms.～. See you.		◆全員が声を発しているか確認する。

4 アルファベットを覚えよう、単語の音とつづりに親しもう（3）

1 目標

アルファベットの発音を理解する。

2 本時の展開例

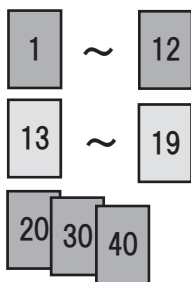
活動内容	T1	T2(ALT)	◆留意点 ★評価 ◎使用教材
○挨拶をする。 Hello, ～. I'm ～. Thank you and you? T1 とのやりとりを T2 と行う。	Hello, everyone! How are you? I'm ～. Next, you can greet T2.	Hello, everyone. How are you? I'm ～. Let's enjoy today's lesson.	◆全員が声を出しているか確認する。
○歌を歌う。	○ABC song を歌うよう伝える。 ○全員が声を発しているか確認する。	○ABC song を歌う。 Let's sing "Alphabet song" together.	◎CD
○フォニックスの練習をする。 ・T2 に続いて発音する。 ・順番に一人ずつ T2 の指した文字の音を習ったりリズムで発音する。	○各生徒の発音の様子を確認する。 ○T2 の助言の意味を生徒に伝える。「音は喉からではなく、腹筋を使ってお腹から出しましょう。」 ○間違いやすい L と R の違いを説明する。	○フォニックスを一つ一つ発音する。 A says, a, a, apple. B says, b, b, boy. C says, c, c, car.	◎該当する教科書のページをプロジェクターで掲示 ◎絵カードを用意する。 ★T2 の発音を聞き取り、正しく発音している。 ◎DVD
○カルタをする。	○聞き取れているか、グループの様子を確認する。	○アルファベットを発音する。	◎カルタカードをグループに1セット準備
<p>【活動の進め方】</p> <p>①グループに分かれる。</p> <p>②A-Z カードをカルタカードとして1セットずつ配る。</p> <p>③T2 が文字を言い、生徒はそのカードを取る。</p> <p>④T2 が音を言い、生徒はそのカードを取る。T2 が“What the letter?”と問い、カードを取った生徒は文字も答える。</p> <p>⑤グループ内で順番を決め、1番の人から上記練習の際のリズムで音を言って出題する。他者がその音のカードを取る。</p> <p>⑥各回で多くのカードを取れた人が勝ちとなる。</p>			
○挨拶をする。	Good-bye, everyone. Good-bye, Mr./Ms. ～. See you.		◆全員が声を発しているか確認する。

5 数字

1 目標

数字を表す単語の発音について、日本語の音声と英語の音声との違いを理解する。

2 本時の展開例

活動内容	T1	T2(ALT)	◆留意点 ★評価 ◎使用教材
○挨拶をする。 Hello, ～. I'm ～. Thank you and you? T1 とのやりとりを T2 と行う。	Hello, everyone! How are you? I'm ～. Next, you can greet T2.	Hello, everyone. How are you? I'm ～. Let's enjoy today's lesson.	◆全員が声を出しているか確認する。
○フォニックスの練習をする。	○全員が声を発しているか確認する。	○A から順に1文字ずつリズムを付けて発音する。 ○テンポを速くして繰り返す。	
○単語の発音を練習する。	○「Let's Enjoy Bingo」を使って単語を発音しながらビンゴを行う。	○各単語の発音見本を示す。	◎「Let's Enjoy Bingo」
○数字の発音を練習する。	○色分けした-thy カードや-teen カードを黒板に貼る。 ○発音や数字が分からなくなった生徒への支援をする。	○100までの数字を一つずつ発音しながら板書する。 ○生徒を順番に指名し、100まで一人ずつ発音させる。 ○「電話番号ゲーム」をする。 T2 が“Telephone number of my school is...”と8桁の数字を言い、生徒はそれを聞いて覚えて発音する。	◎-thy カード  ★T2 の発音聞き、正確に発音している。
○すごろく (Snakes and ladders) をする。	○すごろくゲームの説明をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 【活動の進め方】 ○T1 と T2 でデモンストレーションをする。 ①4人のグループを作る。 ②すごろくワークシートをグループに1枚配布し、サイコロを振ってゲームを行う。ワークシートは1～100までの数字がマスに書いてあり、ゴールの100を目指して進む。 ③サイコロを振った人は必ず止まったマスの数字を英語で発音しなければならない。これをしない人は1回休みとなる。 </div>		◎すごろくワークシート
○挨拶をする。	Good-bye, everyone. Good-bye, Mr./Ms. ～. See you.		◆全員が声を発しているか確認する。

6 be動詞(1)

1 目標

Are you ~? / I'm not ~ を用いて、相手に尋ねたり適切に応答したりする。

2 本時の展開例

活動内容	T1	T2(ALT)	◆留意点 ★評価 ◎使用教材
○挨拶をする。 Hello, ~. I'm ~. Thank you and you? T1 とのやりとりを T2 と行う。	Hello, everyone! How are you? I'm ~. Next, you can greet T2.	Hello, everyone. How are you? I'm ~. Let's enjoy today's lesson.	◆全員が声を出しているか確認する。
○フォニックスの練習をする。	○全員が声を発しているか確認する。	○A から順に1文字ずつリズムを付けて発音する。 ○テンポを速くして繰り返す。	
○単語の発音を練習する。		○各単語の発音見本を示す。	
○Are you ~ ? / Yes, I am. の表現を練習する。	○生徒全体に対して質問する。 ○質問と応答を繰り返し発音して練習する。 ○“you”と“I”を体を使って覚える。 “Are you Superman?” “Yes, I am.” “No, I am not.”	○T1 と交代しながら生徒に質問する。	○3 Hint Quiz で活用できる単語の練習を合わせて行う。
○3 Hint Quiz をする。 ・グループで3 Hint Quiz をする。 ・クイズの答えとなった単語をノートに書く。	【活動の進め方】 ○T1 と T2 でデモンストレーションをする。 ①4人のグループを作る。 ②答える生徒を一人決める。答える生徒は自分が何になるかを決める。 ③他の生徒は質問者となり、答える生徒に“Are you an apple?”などの質問をする。 ④当てたら答える生徒を交代する。 ⑤正答数が多いものが勝ちとなる。		
○挨拶をする。	Good-bye, everyone. Good-bye, Mr./Ms. ~. See you.		◆全員が声を発しているか確認する。

7 be 動詞 (2)

1 目標

Are you ~? / I'm not ~ を用いて、相手に出身地や名前を尋ねたり適切に応答したりする。

2 本時の展開例

活動内容	T1	T2(ALT)	◆留意点 ★評価 ◎使用教材
○挨拶をする。 Hello, ~. I'm ~. Thank you and you? T1 とのやりとりを T2 と行う。	Hello, everyone! How are you? I'm ~. Next, you can greet T2.	Hello, everyone. How are you? I'm ~. Let's enjoy today's lesson.	◆全員が声を出しているか確認する。
○フォニックスの練習をする。	○全員が声を発しているか確認する。	○A から順に1文字ずつリズムを付けて発音する。 ○テンポを速くして繰り返す。	
○単語の発音を練習する。		○各単語の発音見本を示す。	
○Are you ~ ? / Yes, I am. の表現を練習する。	○生徒全体に対して質問する。 ○質問と応答を繰り返し発音して練習する。 “Are you Honoka?” “Are you from ~ ?” “No, I am not.”	○国旗のフラッシュカードを示し、国の名前の発音を確認する。 ○T1 と交代しながら生徒に質問をする。	◆インタビュー・ビンゴゲームで使う単語の練習を合わせて行う。
○インタビュー・ビンゴをする。 ・Activity で話した文をノートに書く	<p style="text-align: center;">【活動の進め方】</p> <p>○T1 と T2 でデモンストレーションをする。</p> <p>○Yes, No の回答の後に一文付け加えることや相手の発言を繰り返すことで、円滑な会話が成り立つことを T2 とのデモンストレーションで示して説明する。</p> <p>①一人一枚ずつビンゴカードと自分カードを配る。</p> <p>②自分カードに書かれた人物になり質問に答える。</p> <p>③質問は名前が3回まで、国名は1回までとする。</p> <p>④質問者は“Yes I am.”の回答を得たら、その事柄が掛けられた自分のビンゴカードのマスに印を付ける。</p> <p>⑤生徒は教室内で多くの友人と会話をし、ビンゴを目指す。</p>		◎ビンゴカード(4×4マスに16種類の「自分カード」の情報を記載) ◎「自分カード」(国旗(国名)と名前が書いてある名刺サイズのカード) ★既習の単語や表現を用いて、相手に出身地や名前を尋ねたり適切に答えたりしている。
○挨拶をする。	Good-bye, everyone. Good-bye, Mr./Ms. ~. See you.		◆全員が声を発しているか確認する。

第4章 CAN—DOリスト【第5学年】

聞くこと	日常生活に関する身近で簡単な事柄について具体的な情報を聞き取ることができる。	
	1	好きなものや欲しいものなど、簡単な自己紹介を聞き取ることができる。
	2	祭りや行事に関する話を聞き取ることができる。
	3	世界の同世代の子供の学校生活の話を聞いて、自分たちとの相違点や共通点を聞き取ることができる。
	4	一日の生活について話を聞き取ることができる。
	5	動作を表す簡単な語句やできること、できないことについて話を聞き取ることができる。
	6	国名や地域、建物等の簡単な語句や行きたい場所についての話を聞き取ることができる。
	7	東大和市内のお気に入りの場所やものに関する話を聞き取ることができる。
	8	誰がどの料理を注文したのか具体的なメニューを聞き取ることができる。
	9	自分が憧れたり尊敬したりする人の話を聞いて具体的な情報を聞き取ることができる。
読むこと	音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かる。	
	1	活字体の大文字を発音することができる。
	2	活字体の大文字を発音することができる。
	3	英語で書かれた時間割の意味が分かる。
	4	一日の生活を表す表現の意味が分かる。
	5	できること、できないことについて簡単な語句や基本的な表現の意味が分かる。
	6	行きたい国や地域について簡単な語句や基本的な表現の意味が分かる。
	7	東大和市内のお気に入りの場所やものに関する簡単な語句や表現の意味が分かる。
	8	メニューに関する簡単な語句や表現の意味が分かる。
	9	音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かる。
話すこと(やり取り)	自分や相手に関する事柄について尋ねたり答えたりすることができる。	
	1	自分の名前や好きなもの、欲しいものなどを尋ねたり答えたりすることができる。
	2	誕生日や誕生日に欲しいものについて尋ねたり答えたりすることができる。
	3	教科について尋ねたり答えたりすることができる。
	4	一日の生活について”What time do you ~?”などを用いて尋ねたり答えたりすることができる。
	5	自分や第三者のできること、できないことについて尋ねたり自分の考えや気持ちを含めて答えたりすることができる。
	6	行きたい国や地域について尋ねたり理由を含めて答えたりすることができる。
	7	東大和市内のお気に入りの場所やものについて、尋ねたり自分の考えや気持ちを含めて答えたりすることができる。
	8	丁寧に注文や値段を尋ねたり答えたりすることができる。
	9	自分が憧れたり尊敬したりする人について自分の意見を含めて伝え合うことができる。
話すこと(発表)	身近で簡単な事柄について簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。	
	1	自分の名前や好きなもの、持っているもの、欲しいものなどを自己紹介することができる。
	2	誕生日や誕生日に欲しいものについて話すことができる。
	3	オリジナルの時間割を紹介することができる。
	4	自分の日常生活を頻度も含めて紹介することができる。
	5	自分や第三者のできること、できないことについて話すことができる。
	6	行きたい国や地域について理由を含めて話すことができる。
	7	東大和市内のお気に入りの場所やものについて理由を含めて話すことができる。
	8	お店ごとに考えたオリジナルメニューについて説明することができる。
	9	自分が憧れたり尊敬したり人を紹介することができる。
書くこと	音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができる。	
	1	活字体の大文字を書くことができる。
	2	活字体の大文字を書くことができる。
	3	時間割について音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができる。
	4	書き順に気を付けて、活字体の小文字を書くことができる。
	5	できること、できないことについて音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができる。
	6	行きたい国や地域について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができる。
	7	東大和市内のお気に入りの場所やものについて音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができる。
	8	注文したい料理について音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができる。
	9	自分が憧れたり尊敬したりする人について音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができる。

第4章 CAN—DOリスト【第6学年】

聞くこと	日常生活に関する身近で簡単な事柄について短い話の概要を聞き取ることができる。	
	1	教員や友達との自己紹介で話したことの概要を聞き取ることができる。
	2	東大和市内の道案内で場所を尋ねたり答えたりする表現を聞き取り、概要を捉えることができる。
	3	ある人に関わる話の概要を聞き取ることができる。
	4	地域のよさや課題等について話される英語を聞いて、その概要を捉えることができる。
	5	夏休みの思い出について話される英語を聞いて、その概要を捉えることができる。
	6	オリンピック・パラリンピックに関わる国名や競技名、その概要を捉えることができる。
	7	学校行事について簡単な語句や基本的な表現で話される英語を用いて、その概要を捉えることができる。
	8	将来の夢や職業について簡単な語句や基本的な表現で話される英語を用いて、その概要を捉えることができる。
	9	中学校の部活動や学校行事等について概要を聞き取ることができる。
読むこと	言語外情報を伴って示された語句や表現を推測して読むことができる。	
	1	自分が好きなことや誕生日、できること、得意なことなどについての表現を推測して読むことができる。
	2	東大和市内の道案内で、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現推測して読むことができる。
	3	自分や他者の好みやできることなどについて音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を推測して読むことができる。
	4	地域のよさや地域への願いについて簡単な語句や基本的な表現を推測して読むことができる。
	5	夏休みの思い出について簡単な語句や基本的な表現を推測して読むことができる。
	6	音声で十分に慣れ親しんだ国名や競技名について簡単な語句やオリンピック・パラリンピックで見た競技と理由を表す基本的な表現を推測して読むことができる。
	7	学校行事について簡単な語句や基本的な表現を推測して読むことができる。
	8	将来就きたい仕事や夢について簡単な語句や基本的な表現を推測して読むことができる。
	9	中学校生活について簡単な語句や基本的な表現を推測して読むことができる。
話すこと(やり取り)	自分や相手のこと、身の回りのものに関する事柄について質問したり答えたりすることができる。	
	1	自己紹介で自分の好きなことやできることなどを伝え合うことができる。
	2	東大和市内の道案内で場所を尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。
	3	自分や他者について好みやできることなどを伝え合うことができる。
	4	自分が住む地域についてよさや願いなどを自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。
	5	夏休みの思い出について自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。
	6	オリンピック・パラリンピックで見た競技についてその場で質問したり答えたりして伝え合うことができる。
	7	思い出深い学校行事について簡単な語句や基本的な表現を用いて自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。
	8	将来就きたい仕事や夢について自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。
	9	中学校で入りたい部活動や楽しみな学校行事について自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。
話すこと(発表)	身近で簡単な事柄について自分の考えや気持ちを含めて簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。	
	1	自分が好きなことや誕生日、できること、得意なことなどについて話すことができる。
	2	東大和市内の道案内をすることができる。
	3	自分や他者について紹介することができる。
	4	自分が住む地域のよさや願いなどについて自分の考え気持ちを話すことができる。
	5	夏休みの思い出について自分の考えや気持ちを話すことができる。
	6	オリンピック・パラリンピックで見た競技について自分の考えや気持ちを話すことができる。
	7	思い出深い学校行事について簡単な語句や基本的な表現を用いて自分の考えや気持ちを話すことができる。
	8	将来の夢や職業について自分の考えや気持ちを話すことができる。
	9	中学校で入りたい部活動や楽しみな学校行事について自分の考えや気持ちを話すことができる。
書くこと	自分のことや身近で簡単な事柄について例文を参考に音声で十分慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができる。	
	1	自分が好きなことや誕生日、できること、得意なことなどについて例文を参考に書くことができる。
	2	東大和市内の場所や建物を表す語句について例文を参考に書くことができる。
	3	紹介したい人物について例を参考に単語間のスペースに気を付けて紹介文を書くことができる。
	4	地域のよさや地域への願いについて例文を参考に書くことができる。
	5	夏休みの思い出について例文を参考に書くことができる。
	6	オリンピック・パラリンピックで見た競技について、例文を参考に書くことができる。
	7	学校行事について例文を参考に書くことができる。
	8	将来就きたい仕事や夢について例文を参考に書くことができる。
	9	中学校で入りたい部活動や楽しみな学校行事について例文を参考に書くことができる。

**第五中学校グループ外国語教育モデルカリキュラム
東大和市校内研究奨励校**

平成31年2月発行

編集・発行 東大和市立第五中学校
所在地 〒207-0033 東京都東大和市芋窪 5-1119
電話 042-561-0050
FAX 042-590-7032
ホームページ <http://5c.hyama.andteacher.jp/>